

高島平地域における水害対策の課題

～ハード・ソフト両面からの検討～

近年の地球温暖化による異常気象で、水害のリスクが高まっている。東京都板橋区高島平地域は、地理的特徴および高齢化の進行により、水害で大きな被害が発生することが想定されている。高島平の水害対策についてハード・ソフト両面から課題を検討したものや地域住民の防災意識について質的調査を行った例は少ないことから、本研究では高島平地域の水害対策に焦点を当てハード・ソフト両面から課題を検討した。

ハード面の課題には避難所の数と位置の問題があることを挙げ、荒川氾濫時、高島平から高台への避難が必要だと思われる一戸建・長屋建・1、2階に住む推定避難者数と高台エリアの避難所の推定収容人数を比較した。その結果、約4,500人分の避難スペースが不足していることが明らかになった。

ソフト面の課題としては、高島平地域住民への聞き取り調査を通じて、コミュニティ形成の過程においてお互いのプライバシー意識が妨げになっていることや高島平との関わり方の違いにより水害への危機意識に違いが出る可能性を明らかにした。